

私は、この度の町長選挙におきまして、多くの町民の皆様をはじめ各方面からの力強いご支援と心温まるご厚情をいただき、無投票当選の栄に浴し、引き続き町政の重責を担わせていただくこととなりました。

5,700人町民の皆さんの熱い期待にお応えできるよう、4年間の町長としての経験を力に新たな決意と信念を持って、町長の責務を担っていく覚悟であります。

さて、4年間を振り返りますと、世界同時不況と歴史的な政権交代、東日本大震災や東京電力福島第1原発事故を受けて安全安心な生活への復旧・復興、特に、原子力発電所再稼働の是非を含めた再生可能エネルギー対策の導入など大きな変革期にあり、合わせて地方においては、極めて厳しい自治体運営をしいられるなか、佐呂間町においては、自立の自治体を目指して基礎固めに努める決断をさせていただきました、選択と集中、重点化を基本に創意工夫を凝らしながら様々な行政課題に取り組んできたところであります。

高齢者世帯やひとり暮らし世帯に対するケアハウス施設の増床・特別養護老人ホームの増床と介護の充実、高齢者あんしんネットワーク事業の創設



佐呂間町長 川根 章夫 2期目へ向けて

住んでみたい、住み続けたい とっていただけるまちづくり

1 豊かな自然と人々が共存する産業を！！

- 基幹産業の振興、生産基盤・水道施設整備の推進。
- 新規就農者、担い手育成支援策の継続と充実。
- 漁港の計画的整備、サロマ湖環境保全対策推進。
- 町内購買促進の継続、移動販売事業での買物弱者支援。
- 商工業活性化、地場特産物商品開発支援とPRの推進。
- 豊かな観光資源を守り育てる方策。
- 新規創造支援、企業誘致による雇用の創出。

2 ふれあいとやすらぎのある社会を！！

- 保健、医療、福祉の地域ネットワーク化による充実。
- 公設民営化想定の医療施設の機能の充実。
- 高齢化社会に必要な施設・在宅・介護予防サービスの質的、量的な充実。
- 在宅高齢者が市街地での生活を可能とする（仮称）高齢者生活支援ハウスの整備。
- 健康づくり推進、特定健診、節目検診等の支援継続。

3 ところを育む魅力ある教育を！！

- 小学1年30人学級の継続、小中学校35人学級の実現。
- 佐呂間高校までの学校給食拡大。
- 豊かさを実感できる佐呂間町を創るため、人と人・地域と地域の絆を深められる社会の実現。

4 心豊かで快適な暮らしを支えるまちを！！

- 自治基本条例の創設、住民が主役のまちづくりを推進。
- 行財政改革等継続での財政基盤強化。
- ブロードバンド環境整備（光ファイバー網の設置）
- 太陽光発電システムのメガソーラー事業誘致。
- ふれあいバス等交通網のさらなる向上。
- 職員の意識改革を進め、戦う政策集団を育成。

学校・福祉・医療が一体となる町内循環交通ネットワーク体制と町外バス体制の充実、中学生までの入院・通院の医療費無料化の実施、公的住宅の老朽化対策と優良住宅の推進、活力を生み出す一次産業・商工業の振興等、町民の皆さんを始め自治会、関係団体の方々を合わせ、まちづくりに取り組んでまいりました。

その結果ではありますが、地域力が結集したまちづくりの基盤があらゆる面で確実に実感として進んできたことを受け止めており、私に与えられた使命は「郷土佐呂間を住みよい町にする」そして、子どもから高齢者までの方々から「これからもずっと住み続けたいと思うまちづくり」に努めることであり手応えも感じたところであります。

消費税の増税を柱とする社会保障と税の一体改革関連法案が採めにもめて可決されましたが、今、国会は空転し解散をめぐり突っ張りあいの状態となっており、地方の声が届くのであれば、ここで政治力を使い、どういう社会を作るかという明確な理念を持っていただきたいと強く思うものであります。加えて、一刻も早く推進しなければならぬことが、今後の国づくりの基本方針を「地域が自ら考え、主体的に行動し、その行動と選択に責任を負

う」いわゆる地域分権・地域主権へと国と地方のあり方が大きく転換していくと示されたところであり、地方においてもこの実現を望んでおり、新たな時代を迎えようとしていることも認識していただきたいと思います。

昨年4月から10年間のまちづくりの指針となる第4期佐呂間町総合計画を推進させていただいておりますが、佐呂間町の将来を見据えると、少子高齢化・人口減少は加速傾向に進むことが明らかであります。また、保健や医療・福祉の問題、基幹産業の農業・漁業・林業の一次産業を守りどう発展させていくか、商工業の振興や地域経済の発展と持続的な雇用の確保及び新たな雇用の創出、更には財政の問題、地域の安全安心の確保など解決に向け取り組まなければならない多くの課題があり、これらに真正面から向き合い、乗り越えていかなければ佐呂間の明日は切り開いていけません。

佐呂間町は、畑の宝、海の宝、豊かな自然、豊富な地域資源と人の力が結集できる風土と歴史があり、将来に大いなる発展の可能性を秘めたまちであると考えております。

こうした地域資源を守り育てながら、地域発展のために活用を図ること、町民の結集と総合的な地域の力を発揮

4つの約束と 21の実行項目

することが重要で、このような下で私は、心構えも新たに、住民と行政による自助・共助・公助のバランスの取れたまちづくりの推進、佐呂間の発展と住民福祉の充実、公正・創造・対話を基本に誠実な行政運営に全力を尽くしてまいり所存であります。

私は、安全安心に住むことができ、将来に希望と夢と灯りがともり、厳しくても明日を語るまちづくり、「佐呂間」のさらなる飛躍を目指してまいります。

その実現のため、基本目標として「4つの約束」を、さらに主な政策として21の項目を掲げ任期中に実現を図ることを、さらに1期目の継続事業の検証を含めた推進を町民の皆さんにお約束

してまいりました。

基本目標として、

- ① 基幹産業の振興と町内企業の応援、資源を生かし佐呂間の活性化を図ります。
- ② 安心して暮らせる地域医療を再生します。高齢者見守りおよび健康づくりの推進と福祉・介護の充実を図ります。
- ③ “こころ”を育む魅力ある教育を図ります。
- ④ 町民の自主的な活動を応援し、さらなる地域力の結集を図ります。

町民の皆さんと向き合い、話し合い、多くの力を結集すること、すべては話し合うことからを基本にスピード感を持って、この実現のため全力を尽くし

ていく覚悟であります。私自身に足らざる点が多いことを自覚しつつ、町民の皆さん、議会議員の皆さんを始め関係各位のご指導、ご鞭撻をいただき、少ない経費で大きな行政効果を生み出す、ここを基本に私はこの先頭に立ち、職員とともに佐呂間町に根ざした政策を実施し「変革と挑戦」そして「有限実行」を信条として、スローガン「住んでみたい・住み続けたい」と思っていただけまちづくり」を目指し、努力してまいり決意であります。

以上、これからの町政を進める上での所信の一端を申し上げましたが、すべてが一朝一夕にできるとはもとより思っておりません。

町民の皆さんに一番身近で、基本的な自治体である町は、健全な財政の基盤にあり、継続的な安定した行政サービスを提供することを望んでおり、息の長いことですがここを使命と思っております。

どうか、私の決意をおくみとりいただき、議員各位並びに町民の皆様におかれましては、今後の町政運営に対しまして一層のご指導、ご理解、ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。私、私の所信表明といたします。